

## 「青い花」入会のご案内

「青い花」はドイツ語圏の文学を中心に、その背景となる歴史、思想、哲学、芸術、文化などを学ぶ会です。上智大学名誉教授の故トーマス・インモース先生がノヴァーリスの作品『青い花』にちなんで命名してくださいました。卒業生による自主運営の会で、プログラムも自らづくり、講師をお招きして活動しています。独文・独語科卒に限らず、他学部出身の方も大歓迎です！（随時入会可）

●年会費 20,000円（独文学会費 2,000円を含む）

1回のみビジター料金 2,500円

（ソフィアンまたは会員の紹介がある方のみ。事前にお申し込みください）

●お問合せ 石井万里(1985 文独) Tel/Fax : 042-304-2303 e-mail : [mari-141@jcom.home.ne.jp](mailto:mari-141@jcom.home.ne.jp)  
山科涼子(1971 文独) Tel/Fax : 0422-88-8999 e-mail : [bistrodoggy@yahoo.co.jp](mailto:bistrodoggy@yahoo.co.jp)

●お申込み 石井または山科まで、住所、氏名（フリガナ）、卒業年度、専攻学科、Tel/Fax 番号、メールアドレスをお知らせください。

### 2011年度「青い花」プログラム

講義日	テーマ	講師
2011年		
4月15日(金)	バルバラ・ホーニヒマンを読む	恒川 隆男 (元明治大学教授)
5月23日(月)	モホイ・ナジ展について	水沢 勉 (神奈川県立近代美術館副館長)
6月24日(金)	断絶の証言者 プリモ・レーヴィを語る	徐 京植 (作家、東京経済大学教授)
7月14日(木)	傷病者の聖地 —恩寵の行き交う場所—	寺戸 淳子 (聖心女子大学、青山学院大学、津田塾大学、東京外国語大学など講師)
9月16日(金)	ヨーロッパ絵画に観る男と女の関係	大西マルティーナ (画家、美術講座ウルティマ・ラティオ・アートプロジェクト主催)
10月20日(木)	アレントの考える「権威と権力」	川崎 修 (立教大学教授)
11月11日(金) または18日(金)	ホフマンスタールの『アラベラ』(仮題)	荒川 宗晴 (明治大学講師)
12月12日(月)	「ハイデルベルクのシューマン」	堅田 剛 (獨協大学教授)
2012年		
2月16日(木)	インゲボルク・バッハマンと パウル・ツェラーンの詩的対話	中村 朝子 (上智大学教授)

時 間：10時～12時

場 所：ソフィアンズクラブ（予定）

\*日時・テーマ・場所が変更になる場合もあります。詳細は上記の問合せ先へお尋ねください。